

# 日本建築学会北陸支部・災害連絡部会について

災害連絡部会 2015 年 7 月メール審議にて作成

## 1. 部会設置主旨

日本建築学会では、本会の地震災害調査活動指針に基づいて、各大学が調査団を結成し、調査活動を行っています。この一連の活動を災害発生担当支部として支援し、かつ、調査報告書の作成や報告会の開催を本部と連携して実施することを目的として、各支部では連絡部会が設置されています。

北陸支部の連絡部会は、上記主旨のもと、2003 年 6 月、当時の支部長笹川先生のご提案により設置されました。

## 2. 活動

連絡部会では、主に災害調査支援を行います。また災害のない日常時も、防災や減災を念頭に、例えば市民啓発活動を行います。

### (1) 災害調査

北陸地区で大災害が起こった場合、本部経由で支部に調査依頼があります。支部はこれに応じて、支部内で各大学を中心に調査団が結成され、実調査に入ります。

また、本部からの依頼がない場合でも、各大学の調査団が判断をして調査に入ることもあります。

なお、連絡部会は、各大学の調査団への連絡係りの役割を演ずることになります。連絡部会が調査団を編成し調査に入ることはありません。

### (2) 調査報告

学会経由で調査をした場合には、本部災害委員会の名前で、報告書を発刊いたします。また、支部にて報告会を開催いたします。

### (3) 日常時の啓発活動

防災や減災は日ごろから考えておくべきとのことで、市民を対象に啓発活動を支援することもあります。

本部災害委員会では、支部におけるそうした活動を支援しており、各支部に活動助成を行うとともに、本部災害委員会インターネットWGを設置して、皆様方からの情報交換に応じております。

なお、対象を市民ではなく専門家・実務家とすることもあり、場合によっては各地区で任意団体の勉強会を応援することもあります。